

さくらペパクラ組立説明書

【はじめに】
 作り方が少しむずかしいので、適当に作ると仕上がりが残念な結果になります。じょうずに作るためにはいくつか気をつける事があります。
 まず、型紙は少し厚みのあるケント紙などに印刷し、カッターなどで正確にカットしてください。接着には木工ボンドがおすすめです。あまりたくさん付けると、はみ出して見苦しくなります。すき間が空いてしまったら、紙の切れ端やつまようじなどでボンドを付けましょう。説明書に従って端からできるだけすき間なく組み立てていきましょう。カット面は紙の白色が目立ちますので、気になる方は黒または同色系の薄い色のサインペンなどで色を塗りましょう。インクで手が汚れてペパクラに色が移ってしまうので、お手ふきなどを用意してください。

1 頭を組み立てます。
 耳、鼻を差し込む切れ込みも忘れずに切っておきます。
 曲面が多いので、丸い棒などで図のように丸みをつけておくと組み立てやすくなります。



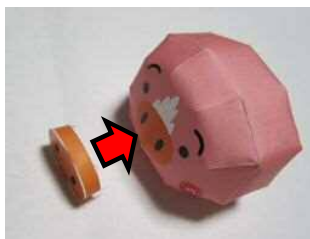
2 のりしろ部分を接着していきます。
 接着部分にすき間がある場合は、この段階で直しておきます。
 すき間にボンドをつけるには、紙の切れ端やつまようじなどを使うとうまくいきます。



3 鼻を組み立てます。
 図のようにふちを丸く組み立て、それに沿ってふたをするように接着します。
 ふちの継ぎ目のない方が上です。



4 鼻の差し込み口に合わせて差し込み、裏側で折り曲げて接着します。差し込み口が小さいときは、カッターなどで調整します。
 押さえすぎて、鼻がくぼまないように注意しましょう。



5 耳を組み立てます。
 図のように耳の裏と表を貼り合わせ、少し丸みをつけます。



6 耳を頭に差し込み、裏で接着します。



7 体の前と後を組み合わせて体を組み立てます。
 しっぽの差し込み口も切っておきましょう。差し込み口のない方が前です。
 足は点線の位置で外側に折っておきます。



8 手を貼り合わせて図のように組み立てます。



9 手を体の差し込み口に差し込み根元を折り曲げて、内側で接着します。
 右手は下向きに、左手は上向きにつけます。



10 頭と体を接着します。
 体は、前後を間違えないように注意しましょう。



11 花は、だまかに切り取り、点線で二つ折りにし、裏にボンドを付けて貼り合わせ、乾いたら切り抜きます。



さくらペパクラ組立説明書

12 花と同じ要領でしっぽをつくり、しっぽの根元にボンドをつけ、しっぽの差し込み位置に合わせて図のように接着します。



18 トーチの柄の接着部分が後ろになるように、炎の向きに注意してトーチの上部に差し込み、接着します。



13 花を頭につけていきます。花の差し込み口が小さいときは、カッターで適当に広げます。



19 手と花と顔にボンドを点付けし、トーチを固定します。



14 花の根元にボンドをつけ、差し込み口に半分ほど差し込みます。ボンドが付け根の周りに少したまるくらいが適量です。花を差し込んだら、バランスを調整します。



20 台を図のように組み立てます。台は、平らな面が前です。台の切れ目に足を差し込み、裏で接着します。



15 花と同じ要領でかみかざりをつくり、図のように3カ所にボンドをつけて接着します。



★できあがり★

16 トーチを図のように組み立てていきます。トーチの上部を接着するときは、図18のように炎を差し込めるよう、切り込みの向きとトーチの柄の接着部分の位置に注意しましょう。



17 花と同じ要領で炎を作ります。

